

2020 年度卒業生成長実感調査について（報告）

2020 年度の卒業生について、卒業時に学士課程全体を通じた成長実感を測定するため、アンケート調査を実施しましたので報告いたします。

1. 調査概要

(1) 趣旨

中央教育審議会答申の中で示された3つの方針について、その方針に基づく人材育成に関して、卒業時の学修成果の測定を卒業生の自己評価にて行う。

調査結果は、学修成果の傾向を把握するとともに、学修支援体制整備に資することを目的とする。

(2) 調査概要

【調査実施日】※アンケートフォーム配信後下記の日程で案内

2021年3月1日・8日 各学科のホームルーム

【対象者】

医療保健学部 卒業生46名 （有効回答者数 45名 回答率 97.8%）

【調査方式】

WEB アンケート（教務システム A ポータル）で実施。 記名式・5件法

(3) 調査項目

「卒業認定・学位授与の方針」（以下「ディプロマ・ポリシー」という。）に関連した自己評価項目10項目及び「カリキュラムに関する満足度」を尋ねる項目10項目

《評価項目》 10項目

- ①科学的探究心と向上心
- ②健康福祉の増進に関わる知識
- ③医療人としての倫理観と人間性
- ④対象者に応じたコミュニケーション能力
- ⑤口腔ケアに関する専門的な知識
- ⑥口腔ケアに関する専門的な技能
- ⑦専門性をいかし、口腔医療の業界を主体的にけん引する気概と意欲
- ⑧多職種連携の意義を理解し、協働する力
- ⑨超高齢化社会の課題に主体的に取り組む力
- ⑩課題解決力

【自己評価基準】

- 5：100%基準を満たしていると思う。
- 4：80%は基準を満たしていると思う。
- 3：50%は基準を満たしていると思う。
- 2：ほとんど基準を満たしていないと思う。
- 1：そのような力は全く身につかなかったと思う。

【カリキュラム評価基準】

- 5：十分身に付けられるカリキュラムであった（満足度 100%）
- 4：ある程度身に付けられるカリキュラムであった（満足度 80%）
- 3：どちらとも言えない（満足度 50%）
- 2：あまり十分なカリキュラムではなかった（満足度 30%）
- 1：対応できるカリキュラムではなかった

＜ディプロマ・ポリシー対応表＞

DP1：医療に係わる専門職としての基本的な知識力、技能力、判断力、問題解決力を有している。

DP2：自らの講義・実習で得た知識・技能・態度をもとに導き出せた内容を適切に提示できる能力を有している。

DP3：口腔保健に関する知識、技能及び技術に対して、科学的探究心と向上心を有している。

DP4：医療、福祉及び関連する制度に関する広い知識をもち、人々の口腔の健康に寄与できる。

DP5：人と温かく接し、歯科医療を通じて社会に貢献する高い倫理観と人間性を持っている。

①科学的探究心と向上心	DP 3
②健康福祉の増進に関わる知識	DP 1
③医療人としての倫理観と人間性	DP 5
④対象者に応じたコミュニケーション能力	DP 5
⑤口腔ケアに関する専門的な知識	DP 1・2
⑥口腔ケアに関する専門的な技能	DP 1・2
⑦専門性をいかし、口腔医療の業界を主体的にけん引する気概と意欲	DP 3・DP 4
⑧多職種連携の意義を理解し、協働する力	DP 3・DP 4
⑨超高齢化社会の課題に主体的に取り組む力	DP 2・DP 4
⑩課題解決力	DP 2・DP 4

2. 結果

(1) 自己評価

- 回答者全体の平均点は 36.0 点（50 点満点）となった。
- 最も自己評価が高かったのは「口腔ケアに関する専門的な知識」で全体の 64.4%が 80%以上の到達度と回答した。最も自己評価が低かったのは「課題解決力」で過半数が到達度 50%未満と回答した。
- 項目別の平均点では「多職種連携の意義を理解し、協働する力」（3.8）が最も高い。

回答者の比率(%)	未達成		50%達成		100%達成
	0.0	2.2	37.8	46.7	13.3
科学的探究心と向上心	0.0	2.2	37.8	46.7	13.3
健康福祉の増進に関わる知識	2.2	2.2	35.6	44.4	15.6
医療人としての倫理観と人間性	0.0	2.2	35.6	48.9	13.3
対象者に応じたコミュニケーション能力	0.0	4.4	37.8	42.2	15.6
口腔ケアに関する専門的な知識	2.2	0.0	33.3	51.1	13.3
口腔ケアに関する専門的な技能	2.2	0.0	44.4	40.0	13.3
専門性をいかし、口腔医療の業界を主体的にけん引する気概と意欲	0.0	4.4	46.7	33.3	15.6
多職種連携の意義を理解し、協働する力	0.0	2.2	35.6	42.2	20.0
超高齢化社会の課題に主体的に取り組む力	0.0	2.2	46.7	35.6	15.6
課題解決力	0.0	2.2	53.3	28.9	15.6

	自己評価平均
科学的探究心と向上心	3.71
健康福祉の増進に関わる知識	3.69
医療人としての倫理観と人間性	3.73
対象者に応じたコミュニケーション能力	3.69
口腔ケアに関する専門的な知識	3.73
口腔ケアに関する専門的な技能	3.62
専門性をいかし、口腔医療の業界を主体的にけん引する気概と意欲	3.60
多職種連携の意義を理解し、協働する力	3.80
超高齢化社会の課題に主体的に取り組む力	3.64
課題解決力	3.58

(2) カリキュラムに関する満足度

- カリキュラム満足度は全体で、20.9 点（50 点満点）であった。
- 全体で最も満足度が高かったのは「専門性をいかし、口腔医療の業界を主体的にけん引する気概と意欲」となった。

回答者の比率(%)	未達成		50%達成		100%達成	
科学的探究心と向上心	8.9	60.0	31.1	0.0	0.0	0.0
健康福祉の増進に関わる知識	13.3	60.0	26.7	0.0	0.0	0.0
医療人としての倫理観と人間性	20.0	53.3	24.4	2.2	0.0	0.0
対象者に応じたコミュニケーション能力	20.0	51.1	24.4	4.4	0.0	0.0
口腔ケアに関する専門的な知識	26.7	53.3	15.6	2.2	2.2	2.2
口腔ケアに関する専門的な技能	22.2	48.9	24.4	2.2	2.2	2.2
専門性をいかし、口腔医療の業界を主体的にけん引する気概と意欲	13.3	46.7	40.0	0.0	0.0	0.0
多職種連携の意義を理解し、協働する力	20.0	55.6	22.2	2.2	0.0	0.0
超高齢化社会の課題に主体的に取り組む力	13.3	62.2	24.4	0.0	0.0	0.0
課題解決力	13.3	53.3	31.1	2.2	0.0	0.0

	満足度平均
科学的探究心と向上心	2.22
健康福祉の増進に関わる知識	2.13
医療人としての倫理観と人間性	2.09
対象者に応じたコミュニケーション能力	2.13
口腔ケアに関する専門的な知識	2.00
口腔ケアに関する専門的な技能	2.13
専門性をいかし、口腔医療の業界を主体的にけん引する気概と意欲	2.27
多職種連携の意義を理解し、協働する力	2.07
超高齢化社会の課題に主体的に取り組む力	2.11
課題解決力	2.22